



おたすけとは、 陽気ぐらしに導くこと

11月月次祭におけるメッセージ

立教185年11月22日

大教会長 片山 幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268

天理教本島大教会

電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R221125-1128-15

奈良県天理市指柳町270-1

本島詰所 〒632-0093

電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>

Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間

【11月1日～12月31日】

朝づとめ 午前6時45分

夕づとめ 午後6時00分

日々はそれぞれのお立場でお勤め下さり、ありがとうございます。

現在フランスに住んでいるBさんから、ロンドンで日本語ガイドをしているAさんをご紹介いただいたお話です。

Bさんは日本人をロンドンへ観光に連れて行ったとき、現地ガイドをよく利用されるのですが、とりわけAさんにガイドしてもらうと、すべての物や場所の価値が上がったように感じるのだそうです。

それはなぜなのでしょう。

きっとAさんは、その物や場所が好きで、心からその良さを感じて、その熱量を伝えられているからだろうと思います。

私たちが人様にお道の教えを伝えるときはいかがでしょうか。

私がおちばで修養科一期講師を勤めさせて頂きながら感じていることですが、コロナ禍とはいえ、おちば

への帰参者が次第に増えてきているようです。

特に親里大路の銀杏並木の黄葉は見事で、ご参拝以外の観光客も大勢いらつしやいます。

私たちも教祖140年祭に向かって、おちばへ人を導くことに力を入れてまいりましょう。

10月26日、本部の秋季大祭で真柱様より「諭達第四号」をご発布頂きました。

立教のとき、親神様が教祖のお口を通して仰せられた「世界一れつをたすけるために天降った」とある「たすけ」とは何でしょうか。

一般的に「たすける」とは、病気を治すことや、事情を治めること、心配事がなくなるといった意味合いになるでしょう。

しかし教祖が仰せられる「たすけ」とは、さらに一歩進んで、人々がいつも御存命の教祖を感じ、他者と心

教祖百四十年祭 **本部巡教**

日時 1月21日(土)午後2時より
会場 本島大教会神殿
巡教員 本部員 田中善吉先生



本島大教会の紅葉

を合わせ、陽気ぐらしが出来る心身に付けてもらえるよう導くことだと思います。

病気や事情、心配事は、たすかるきっかけです。

「諭達第四号」を通して頂いた真柱様の思いに沿って、教祖140年祭に向かって心一つに教えを実践していきましよう。

(文責・本島通信編集室)

教祖年祭に向かって 心定めて継続的な歩みを

大教会役員 鳥澤繁實 とりざわしげみ

只今は本島大教会11月月次祭を滞りなく陽気に勤められたことと拝察申し上げます。

私は毎月大教会の祭典はインターネット・ライブ中継を通してアメリカの自教会で拝しております。

このたびは大教会長様のご配慮を頂き、動画での祭典講話を勤めさせて頂きます。よろしく願います。



神殿講話の動画より

世界を震撼しんかんさせているコロナ・パンデミックにより、海外の皆さんは長らくおぢばがえりができない日々を過ごしました。

その中でも今年5月の大教会創立120周年記念祭には、医療検査を行い、高い渡航費用を工面くめんされて、22人も海外帰参者が参拝されたとのことでした。

私は身上により、5月の大教会記念祭に帰ることが叶かなわず、長らくご無沙汰ぶさたしてご心配をおかけしております。

実は、私は過去日本行きの飛行機の中で、気分が悪くなり意識を失って、乗務員にご迷惑をおかけしたことがありました。

アメリカ国内の短時間の飛行機でも、2回気を失ったことがあり、以

来、飛行機に乗ることに懸念けねんを抱いている次第です。

約3年続いているコロナ・パンデミックの最中さなか、日本にいる身内が危篤やお亡くなりになっても渡航できず、困っておられる方がいます。

私の妻も3年前の11月、親のようにして下さったお兄様が危篤になられ、ご家族から日本になんとか帰れないかと問われていましたが、どうすることもできませんでした。

お出直しのとき、妻の姪からのLINEでお兄様のお顔を見ることができて、声をかけながら、間もなく息を引き取られました。何とも言えない悲痛な時間でした。

現在、このコロナも落ち着いているようですが、ご承知のようにまだ本当のことは分からないのが現状です。

私は大教会祭典のほか、毎日インターネットで本部神殿のライブ中継を見ております。

さらに7月31日は、ユーチューブで「夏休みこどもひのきしん」における「鼓笛御演奏」の動画を見つめました。

まず「本島ドリーム隊」と紹介されて出てきたのは、十数名のドリーム

隊メンバーと数名の指導員です。可愛いドラムメジャーのホイッスルを合図に、エレメンタリーマーチを演奏しながら、とても調子よく、元気よく行進された姿に感動しました。

そして「本島団鼓笛隊」は、横断幕に続いて、30名くらいの隊員と指導員がRYGの曲で誇らしく堂々とした演奏行進を見ることができて、私は目頭が熱くなつてたまりませんでした。

さらに妻が映像の中で大教会長様を見つけて、とても嬉しく思いました。その後今年の8月、大教会長様が数年ぶりにアメリカへご巡教下さり、私共の教会にもご参拝くださいました折、日頃の感謝とともに、インターネットを通してお道の情報発信にとっても勇気を与えられていることもお伝えさせて頂きました。

本島鼓笛隊では、私は創設のときから携わらせて頂きましたが、冬至の片山昇総長の規律ある指導が強く印象に残っています。

ある夏の合宿のこと。午前中、神殿前で厳しい行進練習をしているとき、ある母親が丸亀方面から来られ、神殿南側スロープで練習の様子を見

学されました。そして練習がひと区切りついたとき、母親は隊の中から自分の息子を引っ張り出され、指導員に「息子をこんなに厳しいスパルタ練習をさせるとは知らなかった。連れて帰ります」と言われたのです。しかし、その子どもは母親の手を振り切って「僕はここでやるんだ」と、練習に戻って行きました。

母親は息子のたくましい姿に嬉し泣きをされました。私たちはお母様を昇総長のおられる所へお連れして成り行きを説明したところ、総長はしばらく母親にお話をされました。「指導員は一生懸命に子供に言っておりませんが、こどもおちばがえり、多くの皆さまから注目を浴びると子どもたちは誇りに思えますから、頑張ってくれております」との内容でした。親も納得されて、喜んで帰られました。

するとその数日後、その母親から合宿に参加している人数分(約200〜250人分)のおやつが送られてきました。すると昇総長はその隊員を事務局に呼び、次のことを話されました。「このおやつは、あなたのお母さんから送って下さったもので、みんな喜んで頂いています。合宿が終わっ

て家に帰ったら、お母さんに鼓笛隊の皆さんが感謝して喜んで頂いたことを伝えて下さい。」

その隊員は嬉しそうな顔で返事をしておりました。

親にも子供にも、きめ細やかな気配りと心遣いを感じました。

本島鼓笛隊は厳しい規律を通して育てられ、まもなく60年を迎えます。

今日まで鼓笛隊に何人の人が関わり、何人の子供達が育てられて来たことでしょうか。

本島鼓笛隊は、アメリカやハワイでも活動いたしました。

ロサンゼルスのリトル東京で毎年開催される「二世ウィーク祭」では、最後に数万人が集まるパレードが行われますが、本島鼓笛隊はそこに11回出演しました。

さらにデイズニールランドでは9回出演しました。

特にデイズニールランド出演するための交渉では、初め小さな子供というところで何度も断られておりました。前SP教会長である岡崎史朗先生が昇総長のアドバイスを受けて、日本で活躍する写真やビデオなどの資料をもって根気強く交渉され、ようやく許可が下りた経緯がありました。

昇総長は「もし子どもたちがデイズニールランドで演奏できたら、どんなに夢や誇りをもってくれるだろうか」と強い信念をお持ちでした。

デイズニールランドでは、元気に素晴らしい演奏パレードができました。特にアメリカでは例のない子供による鼓笛バンドは注目を浴びました。

教祖は明治10年、当時8歳の辻とめぎく様に

「琴を習いや。」

と仰せになりました。

続いて、飯降よしゑ様12歳に

「三味線を持て。」

と仰せられ、さらに上田ナライト様15歳に

「胡弓々々。」

と仰せられました。

皆さん特別なところへ習いに行くことなく、教祖から直々に教えを受けられました。

特に飯降よしゑ様は明治20年陰暦正月26日のおつとめの際、三味線を勤められています。

お琴は三と五の弦は、左手でしっかりと押し抑えて弾くことを教えられています。

ご存知のように、そのように抑え

て弾くことによって音程が半音上がり、おうたの旋律が陽になるからです。抑えなければ陰な旋律になります。教祖は、このおつとめの旋律は陽であり、すなわち陽気に勤めることを教えられたのだと思います。

そして教祖はなぜ最初に子供に女鳴物を教えられたのでしょうか。

子供は習いごとの上達が速いこと、そして素直であるからでしょう。

教祖伝逸話篇を拝読すると、教祖が子供を心配されていたことがいくつもあります。教祖はいつも子供を大事なお育て下さっています。

本島の鼓笛隊活動は、子供を育てる良い活動の一環であると私は信じて疑いません。これからも鼓笛隊活動をぜひ続け充実させて頂きたいと願っております。

このたびの論達第四号に

「教祖お一人から始まったこの道を、先人はひながたを心の頼りとして懸命に通り、私たちへとつないで下さった。その信仰を受け継ぎ、親から子、子から孫へと引き継いでいく一歩一歩の積み重ねが、末代へと続く道となるのである。」

本島鼓笛隊はこのつなぐ役割をしていると思います。

最後に私事ですが、これまで十二下りてをどりを、何かあると10日間とか1ヶ月間とか期限を決めて勤めさせて頂いたことがありました。

10年前の教祖130年祭活動も、3年間と期限を決めておつとめを勤めて来たのですが、年祭を終えて自教会に戻って来たとき、妻が「十二下りてをどりは、これから毎日しましょう」と提案してくれ、以来二人で今も夕づとめ後に勤めさせて頂いております。

私の体調によつては「一れつ」の手が心配になることがあります。

幸い、教会の参拝場のフロアはタイル張りですので、十二下りてをどり専用の厚手ソックスを履いて勤めさせて頂き、回ることが出来ます。

それでも緊張するのは、十一下り目の八つと九つは短い間に「一れつ」の手が3回あるところです。幸い出来ております。

5年程前のおちばがえりで、北礼拝場の結界前で一人座りづとめを勤めていたとき、何故か涙が止まらなくなりました。と言うのも悲しいからではなく、「今、自分はんろだいの前で、おつとめを勤めさせて頂いているのだ」という感激だったこ

第30回女子青年大会

3年に一度開催される女子青年大会、第30回を数える今回、式典が11月27日午前10時より本部中庭にて開催されました。

本島女子青年部(片山香葉子委員長)ではこの大会を目指して、女子青年層の掘り起こしのため、葉書や手紙を使って大会参加への勧誘を行ってきました。

冬晴れのお恵みを頂いたこの日、本島から42名(内女子青年30名)が

とに気がつきました。

振り返ると、自教会でのおつとめは拍子木を打ちますので、自分で手を振って座りづとめを勤めるのは月次祭のときだけ、ということにも気がつきました。

以来、手を振る座りづとめも毎日朝づとめとは別に勤めさせて頂いております。いろいろな願いごとでもできますので、有難いことです。

教祖140年祭に向かって、心を定めてお互い勤めさせて頂きましょう。

ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



親里に集い式典に参加しました。

式典前夜、挨拶に立った大教会長は「陽気ぐらしには、良い言葉と明るい笑顔が大切です」と述べられ、教えを身につけ、感謝の心で通ることを話されました。

女子青年大会式典は、晴天のご守護のもと、真柱様のメッセージと中山はるえ婦人会長様のご挨拶をいただきました。

婦人会長様は、女子青年の「三つのかどめ」である、教会参拝、ひのきしん、にをいがけは論達第四号にも記されていることを挙げられ、「三つのかどめ」の実行は教祖140年祭に向けての三年千日祭活動になる、



心の成人を目指して、教祖年祭活動の始まりを自覚したひとときでした。

とのお話を頂きました。

式典後、おちばへの伏せ込みとして西境内地清掃ひのきしんを実施。パイプ椅子の撤収など約30分間行い、気持ちよい汗を流しました。

午後は支部のつどい「本島女子会」を開催。

和太鼓ほんじまのオープニング演奏、続いて片山かおり支部長より「普段の生活から、『三つのかどめ』や、聞かせていただいたお話を身に行つて、親神様が望まれる、温かく優しい言葉遣いと心遣いで陽気ぐらしを目指していきましょう」とメッセージがありました。その後、グループに分かれ、手作りのすごろくトークを使ったねりあい、親睦を深めました。

コロナ禍ではありますが、遠近間わず大勢の女子青年がおちばに集い、

十一月月次祭 祭典役割

献饗長 老木邦光
伝 供 平井真治郎・篠原不王・吉田晴雄・向所隆文・大上道徳・原口実・後藤正治・伊東康成・雲庵春彦・片山直明・高島栄造・長濱充憲・岩橋守行・長尾海和・白垣初生・寺本邦一・岩橋秀一・鎌田典夫・肥後章・山下英久・須崎晴道・滑川善久・上山康雄・村田輝夫・川村吉夫・江草克一・位下道治・茶屋原良昭
雅楽奉仕者 池田恒治・片山秀明・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康則・伊東慎平・吉田貴慶・白垣俊生(順不同)

祭主 指図方	片山 勲	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	牧野道昭	厩者	寺本教生	賛者
岩橋竜造	寺本教生	岩橋竜造	永島宗行	高垣光治
地 方	老木邦光	窪田靖明	片山直明	
	岩橋竜造	原口 実	長尾海和	
てをどり	平井真治郎	長濱充憲	岩橋秀一	
	片山 勲	岡崎八十則	雲庵春彦	
	岩橋慶三	後藤正治	岩橋守行	
	寺本教生	高島栄造	宮路和徳	
	会长夫人	岩橋元実	片山美穂	
	片山やすゑ	岡崎むつゑ	長尾善絵	
	長尾澄子	伊東晴美	谷口十糸子	
ちやんぽん 拍子木	吉田晴雄	大上道徳	上山康雄	
	雲庵道延	寺本邦一	肥後 章	
太鼓	牧野道昭	永島宗行	位下道治	
	篠原丕王	伊東康成	滑川善久	
すりがね	永山晴明	茶屋原良昭	鎌田典夫	
	向所隆文	高垣光治	江草克二	
小 鼓	池田さわみ	菅岡和美	梅木澄代	
	片山 榮	雲庵まち子	高垣洋子	
三 味 線	井上みつの	向所暉美子	江草志眞	
	鳥澤繁實(米国より動画による)			
神殿講話				

十一月月次祭祭文

立教百八十五年十一月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理主命の御前に天理教本島大教会会長片山幹太に代り役員片山勲慎んで申し上げます

親神様には陽気ぐらしを楽しみにこの世人間をお創め下され長の年限温かき親心をもってお守りお育て下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は及ばぬながらも親神様の思召しにお応えさせて頂けるようたすけ一条の道に努めさせて頂いてありますが、その中にも今日の吉き日は当大教会の十一月の月次祭の日柄を迎えましたので只今からおつとめ奉仕者一同心を一つに揃えて御教え通り座りづとめ・てをどりを陽気に勇んでつとめさせて頂きます

御前には今日を楽しみにこれの大教会に帰らせて頂きました本島の道につながる子供達が喜び心も一入に日頃の御高恩に感謝しおうたを唱和して、なおも変らぬ御守護にお縋りする真実の状をも御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

私共一同は去る十月二十六日御本部秋季大祭において真柱様より教祖百四十年祭に向けて全教の心を一つに結ぶ上から「論達第四号」を御発布下さり、私共はその思召に添って年祭活動にお掛け下さいます大きな親心とご期待にしっかりとお応えさせて頂けるよう教祖の道具衆としての自覚を高めよふべくとしての使命に励ませて頂く決意でございます

更に新年一月二十一日には本部巡教として当大教会に本部員田中善吉先生をお召し下さりお迎えして論達に込められたお召しの理をお流し下さいますので、教会長夫婦を始め一同を、の思召

を漏れることなく心に受け止め、大教会長を芯として部内教会一手一つに年祭活動を歩み出させて頂く所存でございます

更に一月二十五日本島詰所において「教祖百四十年祭決起の集い」を開催させて頂き、先ず本島の道につながる先達が道の伸展を目指して談じ合いを重ね年祭活動の実践に心を定めさせて頂きたいと決意しております

尚今月二十七日お召しにおいて「第三十回女子青年大会」が開催されます。道の台としての徳分を確認し年祭活動に向けて心づくりの場となるよう丹精に努めさせて頂きたいと存じます

本年もあと一ヶ月を余すのみとなりましたが、それぞれに定めた心定め、御守護に真実の限り努めさせて頂きたいと存じます

何卒人たすけの上には一層のお導きを賜り至らぬ所は幾重にもお仕込み下さいまして時句にふさわしい成人と一手一つの活動にお導き下さり陽気ぐらしへの歩みを勇んで進めさせて頂けますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます

(原文のまま)

入社祭

立教185年11月の入社祭はありませんでした。

11月22日(火)
【香川県丸亀市】

天 候 晴後曇
最低気温 9.6℃
最高気温 19.8℃
平均気圧 1019.5 hPa
平均湿度 77 %
平均風速 2.3 m/s
日照時間 4.1 時間
降水量 0.5 mm

※ 降水量は日々の総雨量

青年会本島分会総会



青年会本島分会(片山秀明委員長)では、分会総会を11月20日午前10時30分より大教会神殿にて開催。会員19名とOB1名が参加しました。

中山大亮青年会長様からのメッセージを動画で頂き、続いて大教会長様の祝辞をおかり奥様が代読。「青年会の時代は将来に備える準備期間であり、自分を作り上げていく大切な時期です。青年会員時代に、お道の良さや有り難さを自分自身で見つけることはとても大切だと思います。布教と求道を通してそれらを見

和太鼓ほんじま 天理駅前コフン出演

和太鼓ほんじま(横山富明代表)は11月26日午後1時30分より、天理駅前広場「コフン」野外ステージにて演奏。13人が約30分間にわたって、波玄、陽気太鼓、ドドスト、陽気囃子を披露しました。

コフンでは天理・奈良の文化の発信源として毎週末、様々なコンサート、パフォーマンス、ライブ、企業のPR活動などが催されていますが、このたび天理市観光協会から出演依頼を受けて実現したものの。

和太鼓演奏に加え、和太鼓体験として子供達に和太鼓を叩いてもらう演出も行い、大いに盛り上がりました。

つけ出し、自分の心の糧にしてください」との言葉を頂きました。

総会後は講堂で練り合いを行い、午後は餅つきと大根干しひのきしんに、勇んだ汗を流しました。

またこの日は和太鼓に続いて、天理教校マーチングバンドの演奏も行われました。



よくひとこと 慶事

おおいにしたい
大西太一氏(カリフォルニア協会後継者)と永田成美さん(吉松峰分教会教人)の結婚式が10月29日、本部教祖殿にて執り行われました。



■片山香葉子^{かよこ}さん(大教会長夫妻の長女)10月26日付で本部女子青年に登用され、内統領室室掛勤務を拝命されました。(みちのとも教報第一〇一六号)

新旅客船にじまる就航

丸亀港と本島港を運航している本島汽船では、今年11月より新旅客船「にじまる」が就航しました。

瀬戸内クラフト株式会社(広島県尾道市)で建造されたアルミニウム合金製船舶で、全長約19m、幅4m、総トン数19ト、航海速力21ノット、旅客定員は80名です。

従来のブルーオーシャン2より乗降口や旅客室の通路が幅広くなり、車椅子の利用が楽になりました。また最後部には開放的な旅客スペースが用意され、荷物が多い島民の足として、また観光客にも配慮した間取りとなっています。



旧別席場(いろは教室)のアメリカカ^{ふう}楓



「にじまる」の船名は一般公募が行われました。なお旧船「ブルーオーシャン2」は2001年より20年以上運航されました。

事情はいづ

(立教185年11月26日)

本郷分教会

臨時祭典願

創立百周年記念祭

立教186年3月19日

攝泉分教会

任命願

新任教会長 井上みち子

臨時祭典願

就任奉告祭 立教186年2月5日

以上

おさづけの理拝戴

(立教186年10月分)

本都 上野音葉

大雄峰 森 喜和代

サウザンパシフィック

ZEPHYR NATALIE SPENCER

【計3名】

おさづけお取り次ぎ報告

(立教185年11月22日)

提出教会

17教会

報告数

732回

本年累計

13,016回

をびや許し

(立教186年10月分)

▼本千代△菊地幸代 ▼台檀

△ソ・サヤカ ▼シートタック

△長尾スジャータ 【計3名】

証拠守り下附

(立教186年10月分)

マウイ、サウザンパシフィック

【計2名】

大教会長動向

▼12月(予定)▲

1日〜6日、海外巡教

8日、教人資格講習会講義

11日、本清水分教会巡教

(創立100周年記念)

12日、本岡分教会巡教

(創立100周年記念)

22日、大教会月次祭執行

25日、かなめ会委員会

26日、本部月次祭参拝

30日、本部神殿奉仕当番

以上

少年会新隊長

(立教185年11月分)

フリップン隊

今若七斗

本太隊

加々美美すず

沖浦隊

宮本悠伸

阿波本徳隊

三木笑乃

本九肥隊

上潟口朔

本肥港隊

上潟口吉砥

銀峰隊

日高杜羽子

鶴峰隊

加藤百華

都峰隊

長門花音

【計9隊】

【訂正】先月の新隊長にフリガナの間違いがありましたので訂正いたします。
今野理喜人(本恵隊)

ろくぢ会

(立教185年11月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・

香葉子・幹太郎・好次・昇太△片

山秀明△長尾真実・幸太 ▼樺太

分教会 ▼本樺△大上ほの香・は

る香・太吉 ▼本浜△片山清枝・

正枝・誠 ▼攝泉分教会 ▼崇

徳分教会 ▼本高分教会 ▼本

トランド△片山和信・陽子・昇慶・

竜次 ▼カリフォルニア△大西太一

ご芳志に厚くお礼申し上げます

すき間の

おはなし

本部朝づとめ参拝のとき、皆さん感じたことはないでしょうか？

「おちばの朝日はまぶしい」こと。

日出時刻とは、太陽の上端が地平線と重なった瞬間を指します。

でもおちばでは東に青垣山が連なっているのです、実際に太陽が現れるのは、日出時刻より

20分から40分後になります。

12月は日照時間が短くなります。

今年の冬至にあたる12月22日を例にとると、この日の日出時刻は午前7時。本部朝づとめ

も午前7時に始まりますが、まだ東の空に太陽は見えません。

この日の太陽が昇る位置は、真北より東に18度です。冬至の太陽は、おちばから東を見て右

手の高い山の稜線から昇ることになります。

太陽は角度が上がるにしたがって明るく強くなります。本部朝づとめでは教祖殿まなびが

終わった頃、それまで暗かった教祖殿御用場に強烈な朝日が射し込んでくる温かさは、月目の

やしろである教祖そのもののよう

に感じられるのではないで

しょうか。

もう一つ考察。

明治20年陰暦正月26日の月の動きについて調べてみました。

月齢24・50、月のかたちは右側が欠けて左側約25%輝いていま

す。月入時刻は13時36分、方角は真北より23度です。

眞之亮様が命がけでおつとめ

にかられた午後1時頃、南西の葛城山に隠れる月を見た人は

いらっしやったのでしょうか。

きっと誰も氣にとめていなかったと思いますが、いつか同じ月入を撮ってみたいと思いました。

ちなみに天保9年10月26日と、明治20年正月26日は陰暦

なので月の

かたちは

およそ同

じになり

ます。



陰暦26日の月

【本島通信編集室】



大教会からの お知らせ

11月22日教会長会議連絡事項

本部巡教

【総務部】

教祖 140 年祭本部巡教

- 期日：立教 186 年 1 月 21 日(土)
午後 2 時より
- 会場：本島大教会神殿
- 巡教員：本部員 田中善吉先生
- 受講対象者：教会長、大教会役員、
准役員(その他、教会長配偶者、後
継者、前会長、布教所長等、各教
会でご相談ください)
- 持ち物：各自の「論達第四号」と筆
記具
- 服装：男子はハッピ、ネクタイ、女
子はこれに準ずる
- 受講願(帰参報告書)を 12 月 26 日
まで総務部(牧野道昭)までご提出
ください。

教祖140年祭決起の集い

【年祭活動実行委員会(仮称)】

- 日時：立教 186 年 1 月 25 日(水)
午後 1 時から 4 時まで
- 場所：本島詰所 4 階講堂
- 対象：大教会役員、准役員、教会長
夫妻(欠席の場合代理)
- 用意：論達第四号、筆記用具
- 内容：論達第四号拝読、大教会長挨拶、
意見交換、お願いづとめ(西礼
拝場)
- 各教会の参加者氏名を 12 月 22 日
まで大教会事務所へお届け(または
FAX)をお願いします

会計部より

【会計部】

- 立教 186 年お鏡料・御神酒料は
一教会 2,000 円以上です。本年
12 月 22 日までに、大教会会計部へ
お納め下さい。

鼓笛隊北海道地区冬季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 期間：1 月 13 日(金)から 15 日(日)
- 会場：本樺分教会
- 派遣指導員：佐藤祥子ほか

布教の家入寮者募集

【布教部】

- 期間：3 月 29 日「入寮研修会」から、
翌年 3 月 27 日「卒寮の集い」まで
- 資格：①所属教会長ならびに直属
教会長から推薦された天理教教人。
②年齢は問わない。ただし、毎日
布教に歩くことができること。③
既婚、未婚は問わないが、単身で
の入寮に限る。
- 願書：①入寮願、②経歴書、③健
康調査票、④小論文「入寮の動機お
よび心構え」、⑤写真 2 枚。願書は
布教一課または各寮にて配布。
- 願書受付：1 月 25 日午前 9 時から
2 月 25 日午後 4 時まで、布教一課
へ持参。※郵送での提出はできま
せん。各寮(教務支庁)では受付で
きません。
- 入寮研修会：入寮許可者に対し、3
月 29 日～30 日の 2 日間おちばに
て研修会を開催し、終了後そのま
ま現地へ出発します
- 詳細については、布教一課(電話
0743-63-2243 直通)へ
お問い合わせ下さい

大教会月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：12 月 22 日大教会月次祭に帰
参できないため、ライブ中継視聴を
希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.com
に「ライブ希望」と「教会
名・氏名」を記入してお
申し込みください。当
日朝までにライブ視聴
できるアドレスをメールでお知ら
せします。
- 申込締切：12 月 21 日午後 5 時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申
し込みとなります。申込み後、自
動返信メールが送られます。届か
ない場合は各自の迷惑メールフォ
ルダをご確認ください。



12 月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：12 月 1 日～15 日
- 派遣教会：本京分教会
- 〈大教会・炊事ひのきしん〉
- 期間：12 月 21 日～22 日
- 派遣教会：赤峰分教会
- 〈詰所・食堂ひのきしん〉
- 期間：12 月 25 日～26 日
- 派遣教会：本篠①、同朋①、那波①

元旦祭餅つき

【総務部】

〈本部元旦祭餅つき〉

- 日時：12 月 27 日(火)朝食後
- 場所：本島詰所

〈大教会元旦祭餅つき〉

- 日時：12 月 30 日(金)朝食後
- 場所：本島大教会

統計(10月1日～31日)

教会名	初席	中席	参り座	修科	教人講習	検定講習
樺太		1				
本 田 中					1	
本 都			1			
本 千 代		1				
本 備 前		1				
吉 峰		1				
神 峰	1	2				
豪 峰	1	1				
倉 峰	1					
大 雄 峰			1			
實 峰		1				
大 駿 峰		1				
別 峰		1				
吉 松 峰		2				
肥後八峰	1					
サザバフィック	1	1	1			
合 計	5	13	3	0	1	0

にをいがけ名簿提出教会(11月)

本 樺 11	本 京 10	赤 峰 9
本 室 2	本 千 代 4	豪 峰 54
渋谷 18	本 備 前 5	倉 峰 5
御幸濱 4	崇 徳 5	栄 森 峰 25
代々木 2	本 宣 道 2	霊 峰 4
本 萬 代 2	本 新 田 2	仙 峰 61
本 都 63		
計 19 教会		288 名